



どうぶつ 動物は、なぜオスのほうがきれいなのか

メスに気に入られるため

鳥の仲間は、オスのほうがはでで美しく、逆にメスは地味で目立たないことが多いものです。昆虫も、オスのほうが体が大きく色も鮮やかで、りっぱな角をもっていたり、カニの仲間アカテガニのように、オスが体が大きく、目立つ色の大きなはさみを、もっていることが多いですね。ライオンのオスのたてがみも、大きいほどりっぱなオスであることを示しています。なぜ、オスとメスにこんなちがいが出てきたかということ、同じ仲間のメスに気に入ってもらって、自分の子どもや、卵を産んでもらいたいからです。

オスどうしの競争に勝つため

鳥の仲間を例にすると、ほかのオスより自分のほうがすばらしいんだ、とメスに思わせるため、きれいで目立つ姿をしているのです。鳥の種類によっては、美しくかざった巣を作って、メスをさそう例もあります。カニも、目立つはさみをふって、メスを自分の巣あなに呼び寄せられないと、卵を産んでもらえません。サルやライオンなども、体が大きくて強いオスのところに、メスが寄ってきます。

はでで目立つということは、敵にも見つけやすくなります。その危険を知っていても、動物にとっては、メスを引きつけることのほうが大切なのでしょう。

子育てには、地味がよい

メスはオスを選ぶ側ですから、目立つ必要はありません。むしろ、子育てをするには、地味なほうが、敵に見つけにくく有利です。たとえば、キジのオスは、はでな色ですが、メスは地味です。キジは、地面の上に巣を作るため、メスの地味な色は目立ちません。

(監修・今泉 忠明)

